

口は健康のもと Vol.100

僕（歯髄）を守ってください ～再生医療に活用も研究～

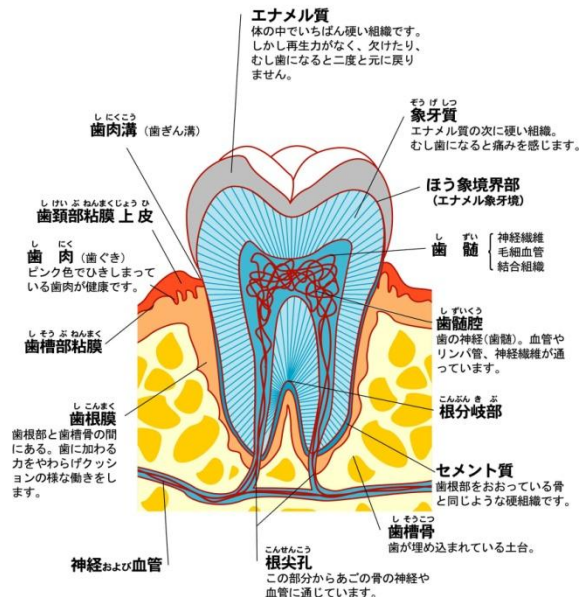
「歯がズキズキ」して、寝られない夜を過ごされた方もいらっしゃるでしょう。今回はこの「ズキズキ」の原因である歯の神経（専門的には歯髄といいます）のお話をしたいと思います。

歯は、表面に硬いエナメル質、内側に象牙質、そのさらに内部に歯髄があります。象牙質には細かい管があり、歯髄とつながっています。そのため、象牙質が露出した場合には、冷たいものが触れると歯がしみることもあるわけです。

代表的な歯髄の働きは、歯の知覚を担うことですが、この歯髄を取らなくてはならない状況として、虫歯が深くなったというのが最も多い原因であると思います。先ほどご紹介したように、象牙質には細かい管が走っているため、虫歯の原因菌は象牙質に達すると容易に歯髄めがけて突進します。細菌が歯髄に到達して悪さをすると、やがて「ズキズキ」してしまい、歯科医院に急行ということになるわけです。

その他にも、歯髄は歯に栄養を送ったり、虫歯に対するバリアを作ったり、最近では歯髄の細胞を再生医療に活用する研究も行われており、歯科領域でも注目を浴びている部分なのです。

かけがえのない大切な歯髄、日頃のお手入れで虫歯から守ってあげてください。



奥羽大学歯学部附属病院

総合歯科 助教 中 貴弘

